

東京慈恵会医科大学地域連携看護学実践研究 センター 基盤づくりの取り組み



○佐藤紀子、梶井文子、佐竹澄子、高橋衣、
嶋澤順子、清水由美子、永澤成人⁴⁾、細坂泰子、
谷津裕子、山下真裕子、室岡陽子、山本伊都子、
志村友理、北素子、荒谷美香³⁾、渡部雅代¹⁾、
花岡一成²⁾、櫻井尚子、内田満

1) 慈恵第三病院看護部
2) 慈恵第三病院看護部
3) 慈恵第三病院看護部
4) 慈恵第三病院看護部



I. 序論

- ・東京慈恵会医科大学は、2018年、**地域住民の健康と生きる力を看護の力で支える活動**を組織的かつ研究的に展開することを目的に、**地域連携看護学実践研究センター** (The Jikei University, Academic Nursing Practice Center for the Community, **以下JANPセンター**) を設立した。
- ・活動開始初年度 (2018年度) は、ニーズ調査、キックオフミーティング、広報活動を実施した。
- ・こうした流れを受け、2019年度からの本格始動に向けて「**みんなの活動**」「**みんなの保健室**」「**みんなのまなび場**」の各部門、「**ニーズ・リソース・マッチング**」「**広報**」のふたつの班が協働し、プロジェクト活動を計画した。
- ・本計画の実施は、**地域住民の健康と生きる力を支える看護を実現する**というJANPセンターの設立目的の実現に向けた重要な第一歩であり、その成果は今後の活動計画の貴重な基礎資料として活用されている。
- ・なお、この取り組みは2018年度2019年度の2年間にわたり、看護学科特別研究費の助成を受けて実施した。

キックオフミーティング 2019年3月30日



東京慈恵会医科大学
地域連携看護学実践研究センター 主催
キックオフミーティング

地域とともに歩む

このたび、大学・病院・地域自治体・保健医療福祉施設・そして地域住民の皆様と連携し、地域住民の皆様健康と生きる力を看護の力で支える活動の場、看護の知の交流の場として東京慈恵会医科大学地域連携看護学実践研究センター（Jikei Academic Nursing Practice Center for the Community：JANPセンター）を開設いたしました。

JANPセンターが地域住民の皆様や看護・医療の実践者との「知の交流の場」になることを期待し、本ミーティングではその活動の目標と方策を関係者の皆様と共有します。

日時

2019年 3月30日(土) 13:00~16:00
(懇親会 16:30~18:00)

会場

東京慈恵会医科大学 医学部看護学科 1階大講堂

プログラム

「JANPセンター設立の経緯とこれから」

JANPセンター長 佐藤 紀子 先生

基調講演：「藤田医科大学 地域包括ケア中核センター 活動の実際」

藤田医科大学 都築 晃 先生

シンポジウム：「地域とともに歩む」

調布市福祉健康部長 山本 雅章 様

狛江市民生委員・児童委員協議会 会長 田中 麗子 様

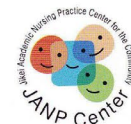
電気通信大学社会連携センター長 宮崎 武 先生

東京慈恵会医科大学医学部看護学科 嶋澤 順子 先生

申し込み方法

申し込みフォーム（QRコードまたはURLから取得）での登録をお願い致します。
※登録できない場合には、問い合わせ先のメールアドレスに「参加希望」のご連絡をお願い致します。
※定員に達し次第、受け付けを終了させていただきます。

URL <https://form.os7.biz/f/e4a07e98/> 検索



JANP Center 東京慈恵会医科大学
地域連携看護学実践研究センター

Jikei Academic Nursing Practice Center for the Community

問い合わせ先

〒182-8570 東京都調布市国領町8-3-1
東京慈恵会医科大学医学部看護学科
Email: janp@jikei.ac.jp



キックオフミー
ティング
講演の様子

Ⅱ. 方法

- **【プロジェクト1:みんなの活動】**では、今後の地域の社会資源としての人材育成のための様々なボランティア活動の拠点となるボランティアセンターとしての機能の確立に向けて、学生や教員が、様々な住民・専門職等の支援活動に主体的にボランティア参加し社会貢献すること支援するとともに運用システムを作成した。

【プロジェクト2:みんなの保健室】では、簡単な健康チェックと情報収集・交換の機会を通じて、地域住民自身や家族の健康づくり、プライマリレベルの相談の場となることを目的に、定例保健室の設置あるいは出張での開催を実施した。

【プロジェクト3:みんなのまなび場】では地域住民や専門職者への情報共有の機会拡大に向けて看護学科教員による個別のセミナー活動等を物的・財政的に協賛支援する計画を、それぞれ立案し実施した。

以上の3部門と連携し計画を推進するa.ニーズ・リソース・マッチング班, b. 広報班の2つを設置した。具体的な活動は以下の通りである



Ⅲ. 結果

2018年度の準備期間を経て、2019年度の活動内容は以下の通りであった。

A. みんなのまなび場部門

市民公開講座を3回主催・共催した。

B. みんなの保健室部門

みんなの保健室を4回開催した。

C. みんなの活動部門

ラグビーワールドカップの観客対応、本院参加病棟の引っ越しのボランティア活動を実施した。災害支援ボランティア活動に必要な備品や情報の周知も行った。





東京慈恵会医科大学
地域連携看護学実践研究センター 主催
市民公開講座

包括的フレイル予防 —衰えへの気づきを元気のヒケツに—



飯島勝矢先生／医師

東京大学高齢社会総合研究機構 教授
東京慈恵会医科大学卒業

フレイルとは？

フレイル (Frailty) とは、健常と要介護状態の中間地点にあり、生活機能障害などの転帰に陥りやすい状態のこと。超高齢社会を迎え、高齢者の健康寿命を延ばし、地域活動への参加を促すために「フレイル予防」に注目が集まっています。どのようにフレイルに気づき、予防できるのでしょうか。またそのために地域社会はどうあるべきでしょうか。フレイル予防の提唱者のお一人であり、研究や啓発活動を主導されている飯島勝矢先生に、フレイル予防の重要性について伺います。

日時・テーマ 「みんなの保健室」 同時開催 (12時～13時30分)

第1回 2019年9月21日 (土) 14時～16時

なぜ老いる？ならば上手に老いるには
—フレイル予防を通じた健康長寿のまちづくり—

第2回 2019年10月5日 (土) 14時～16時

わが国日本：どうなる？何が課題なの？
—“自分のやるべきこと”と“地域のやるべきこと”—

場所 東京慈恵会医科大学 看護学科校舎1階 大講堂
(慈恵医大第三病院となり)

参加費無料、事前申し込み不要です。直接お越し下さい。
会場の関係上、先着200名様に限らせていただきます。

【問い合わせ先】 〒182-8570 東京都調布市国領町8-3-1 東京慈恵会医科大学医学部看護学科
TEL : 03-3430-8686 (内線2770) Email : janp@jikei.ac.jp

みんなの学び場 市民公開講座



みんなの保健室

2019年度は3回実施
2020年度はコロナ禍
のため中止



東京慈恵会医科大学
地域連携看護学実践研究センター 主催
みんなの保健室部門

みんなの保健室

参加費無料
事前申し込み不要

東京慈恵会医科大学 地域連携看護学実践研究センターが保健室を開設します。簡単な健康チェックが受けられます。健康や普段の生活、何か気になることなど、お話してみませんか。

簡単 健康チェック

体重・体脂肪測定、血圧、
口腔機能測定ガムなどで
健康チェック！

健康に関する 情報コーナー

食事や運動、生活習慣に関
する情報の展示やリーフレット
を用意しています

日時

- 第1回 2019年9月21日(土) 12時~13時30分
- 第2回 2019年10月5日(土) 12時~13時30分
- 第3回 2019年11月2日(土) 13時~15時

第1回・第2回は
市民公開講座(フレイル予防)と同時開催
第3回は看護学科フェアブル祭と同時開催

場所 東京慈恵会医科大学 看護学科校舎
第1回・第2回 看護学科校舎1階 ホワイエ
第3回 看護学科校舎3階 実習室2

看護学科の教員と
学生がお待ちして
います



【問い合わせ先】 〒182-8570 東京都調布市国領町8-3-1 東京慈恵会医科大学医学部看護学科
TEL: 03-3430-8686 (内線2770) Email: janp@jikei.ac.jp



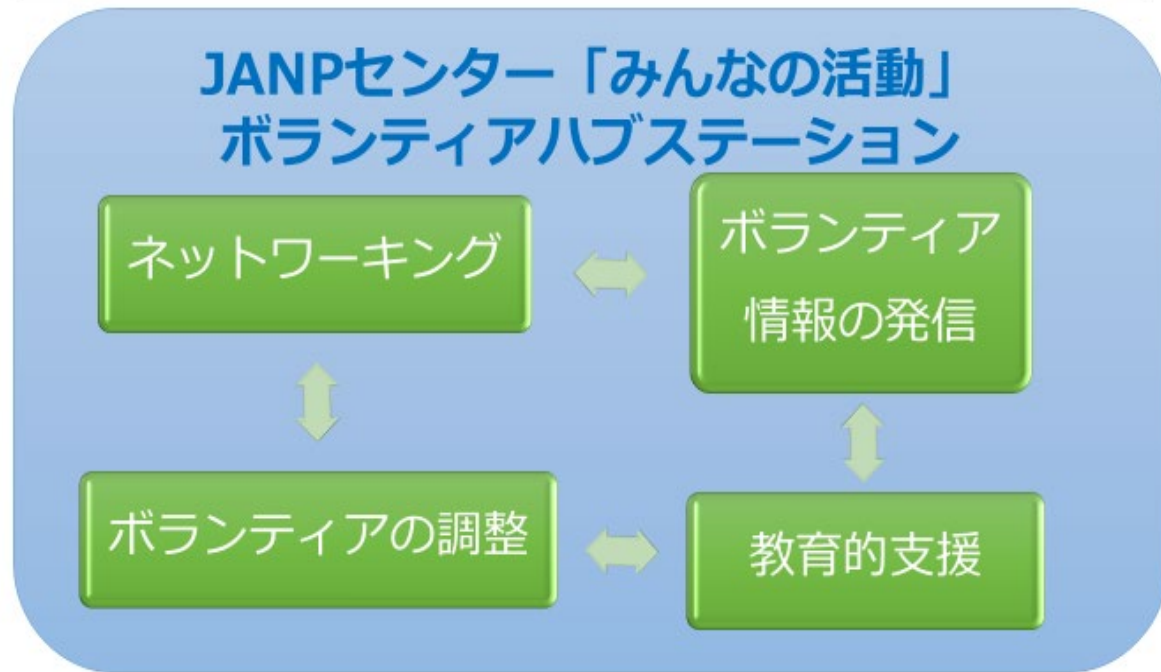
調布市商工会祭り「みんなの保健室」



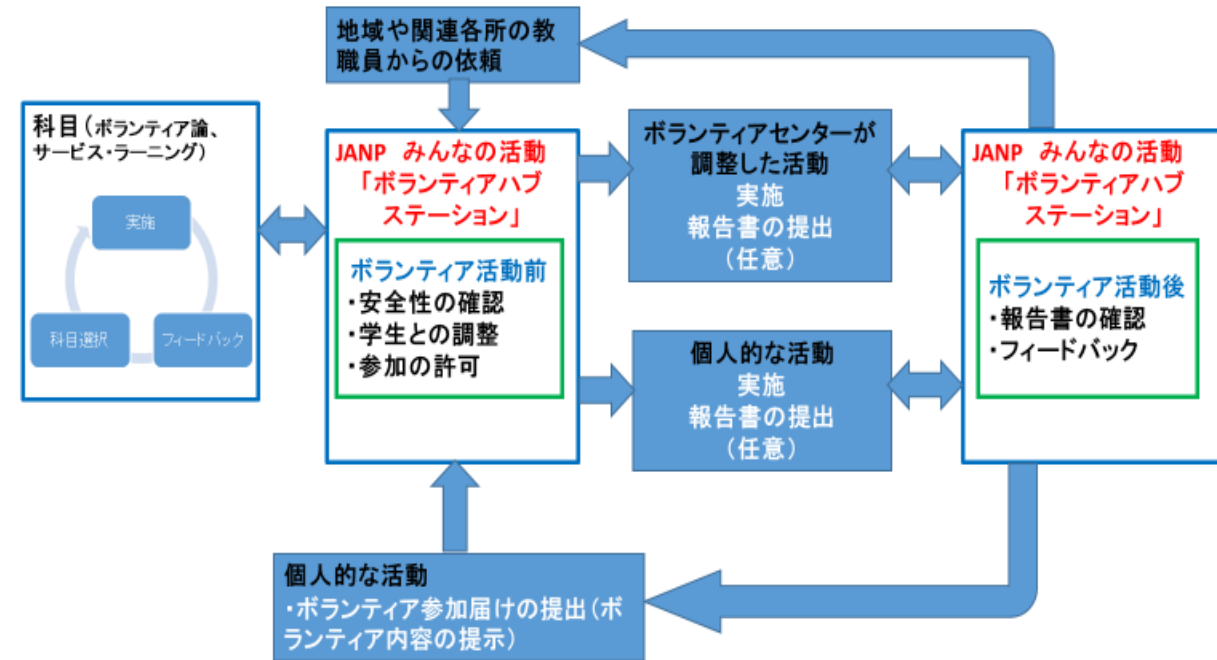
みんなの活動

ボランティアハブステーション(VHS)の設置

ボランティアハブステーションの機能と役割



ボランティアハブステーション ボランティア調整の教育的支援の流れ



ラグビーワールドカップ2019 観客救護室看護師ランティア@東京スタジアム (2019.9-11)



本院新棟産科病棟 引越ボランティア (2019.12.28)



学生6名と教員6名が
患者様の私物等の搬送・
移動に参加しました

災害ボランティア用グッズの整備



D. 広報班

大学HP内にJANPセンターのページを開設した。JANPセンターロゴマーク印鑑、ロゴマークシール、JANPセンター横断幕の作成も行った。

E. ニーズ・リソース・マッチング班

ニーズ調査を実施した。日本看護学教育学会第30回学術集会への交流セッションへの参加準備も行った。

F. 組織横断的活動

1. メヂカルフレンド社看護展望7月号でJANPセンターが紹介された。
2. The JIKEI 33号(2019/Summer)でJANPセンター「院内から地域社会へー新しい看護医療のカタチー」が特集された。
3. 地域の各種イベントで講演を行った。
 - a. 同窓会北多摩支部講演会
 - b. 第三病院医療連携フォーラム
 - c. 調布ナースの会発足記念講演会
 - d. あいとぴあ地域包括支援センター家族介護者教室
 - e. 狛江市「ふらっと移動市長室」
 - f. 電通大学主催ボランティア養成講座



JANP Center 東京慈恵会医科大学
地域連携看護学実践研究センター

Jikei Academic Nursing Practice Center for the Community

東京慈恵会医科大学
地域連携看護学実践研究センター

Jikei Academic Nursing Practice Center for the Community





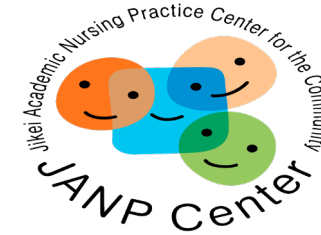
JANP Center 東京慈恵会医科大学
地域連携看護学実践研究センター

Jikei Academic Nursing Practice Center for the Community



JANP Center 東京慈恵会医科大学
地域連携看護学実践研究センター

Jikei Academic Nursing Practice Center for the Community



IV.おわりに—その後の活動—

2018年度のキックオフ、2019年度の活動を基盤として2020年度も3部門2グループが協働し、「地域住民の生きる力を看護の力で支える」活動を推進している。2020年度はCovid-19の感染拡大に伴い、第三病院看護部への応援、JANP遊び場保育室、専門学校への遠隔教育の支援、葛飾医療センターの新人看護師支援等の活動を行った。また「みんなの学び場」ではパンフレットを作成し配布、「みんなの保健室」は遠隔で実施するなどの活動へと繋がっている。2018年度に引き続き2019年度も東京慈恵会医科大学医学部看護学科特別研究費を活用した活動ができましたことに委員一同、心より感謝申し上げます。

JANPセンターのCOVID-19への対応

看護部への支援



JANP遊び場保育室 の開設



慈恵会医科大学 第三病院支援



葛飾医療センター新人看護師の技術支援、メンタルサポート



看護学校オンデマンド授業
準備支援

子ども達の安全と感染予防対策

- ・子どもと教員の健康チェック
- ・使用した寝具等の洗濯の徹底
- ・保育室の掃除・物品の消毒を徹底
- ・手洗いうがいの徹底
- ・3密とならないよう
環境を工夫

子ども達との生活

- ・幼児・学童に分け1日のスケジュールを設定
- ・楽しさを大切に
- ・学習時間はちょっと厳しく
- ・みんなのできる遊びの工夫
- ・熱中症に注意
- ・けんかの仲裁



衛生材料・物品調達

- ・消毒物品が入手困難
→病院との調整
- ・遊び道具の不足
→院内保育や子育て経験者の
教員からの寄付
- ・外遊び後の子どもと保育室の清潔維持

教員のシフト調整

- ・早朝6:30の出勤
- ・子どもの人数が
多い日の応援確保
- ・毎日メールで情報共有
- ・遠隔授業や遠隔実習等、教員
の仕事との両立



ご挨拶

東京慈恵会医科大学では、2018年に「地域住民の健康と生きる力を看護の力で支える」ことを目指し、地域連携看護職実践研究センター（JANPセンター：Jikei Academic Nursing Practice Center for the Community）を設立いたしました。Academic Nursing Practiceとは、看護学の発展とヘルスケアの質の向上を目的とした学問的な場における教育、研究、臨床ケアの意図的な統合であり、諸外国では多くの看護系大学がこの機能を備えた活動をしております。JANPセンターは、少子高齢化に伴う保健医療福祉政策の変化の中で、看護学科教員が医師や福祉関連の多職種とともに、地域の人びとから必要とされる活動に取り組んでいきます。皆様のご支援とご協力を心よりお願いいたします。



東京慈恵会医科大学医学部看護学科校舎ジオラマ



JANP Center 東京慈恵会医科大学 地域連携看護学実践研究センター

Jikei Academic Nursing Practice Center for the Community

お問い合わせ先

〒182-8570

東京都調布市国領町8-3-1

東京慈恵会医科大学医学部看護学科

☎ : 03-3430-8686（自動音声）内線：2611
Email : janp@jikei.ac.jp

この内容は、2020年度市民公開講座の中止に伴い、
内容の一部を文書化したものです。



ご清聴ありがとうございました。
これからもJANPセンターの活動への参
画をお願いいたします。

